

インフォシス InStep、3 年連続で『ベスト・インターンシップ・プログラム』としての評価を獲得

インターンが高く評価するキャリア・アップ、人脈作り、国際的な機会

ベンガルール (インド) 2020 年 11 月 3 日: 次世代のデジタル・サービスおよびコンサルティングのグローバル・リーダーである**インフォシス** (NYSE: INFY) は本日、フラッグシップ・グローバル・インターンシップ・プログラムである InStep がキャリア・インテリジェンス組織の [Vault.com](https://www.vault.com) が発行する 2021 年度の Vault インターンシップ・ランキングにおいて、「ベスト総合インターンシップ・プログラム」部門の 第 1 位を獲得したことを発表しました。インフォシスは、3 年連続でこのランキングを獲得した唯一のグローバル企業です。

InStep は次の部門でも第 1 位を獲得しました。

- 1) テクノロジーおよびエンジニアリング業界のベスト・インターンシップ
- 2) クオリティ・オブ・ライフ、報酬/福利厚生、雇用見通し、職務の質のベスト・インターンシップ
- 3) コンピュータ・サイエンス、ソフトウェア開発、ソフトウェア・エンジニアリングの役割別ベスト・インターンシップ
- 4) 全体的な多様性のベスト・インターンシップ

Vault の調査によると、InStep プログラムを修了したインターンは、選択した業界でのキャリア・アップ、人脈作りの機会、国際的な機会の活用がプログラムを選択した上位 3 つの理由であると述べています。

Vault の編集者はランキング発表時に、「InStep インターンシップ・プログラムが史上初、3 年連続でトップの座を獲得しました。InStep のインターンは、素晴らしい人々、リーダーとの会話、興味深いプロジェクト、真の影響を与える能力、自己開発と新テクノロジーへのフォーカス、インターンシップの期間を通して継続的なメンターシップなどがプログラムの最も素晴らしい部分だと絶賛しました。」と述べました。

世界的な医療危機を受けて、インフォシス InStep は本年度ハイブリッド・モデルで実施されており、大多数のインターンはプログラムの期間を通してリモートで作業しています。インフォシス InStep は、インターンの安全を確保するためにデジタル・プラットフォームと学習ツールの力を結集し、地域を越えて最高の学習体験を提供するというコミットメントを実現しました。プロジェクト・マネージャーとのシームレスなインタフェースを確保するために、カスタマイズされた仮想プラッ

トフォームへのアクセスをインターンに提供します。また、ライブ・リーダーシップ・トーク、ハッカソン、人脈作りイベント、ウェビナーなどの仮想体験へのアクセスも提供されるため、プログラムを通して総合的な学習を行うことが可能です。

Infosys 最高執行責任者ブラヴィン・ラオは、次のように述べています。「このような前例のない時代の渦中で世界が新しい働き方を採用する中、当社は地域を越えて学生に魅力的な学習体験を提供してまいりました。この評価は、若い人材を育成し、即戦力のある将来の人材プールを構築するための有意義な機会を提供するという当社のコミットメントを反映しています。」

MIT 脳と認知科学部の視覚および計算論的神経科学教授兼 MIT インド・プログラム・ディレクター パワン・シンハ氏は、次のように述べています。「Infosysでインターンシップを体験した MIT の学生たちは、その体験がどれほど影響力が大きいかを必ず語ってくれました。非常に豊かな文化に浸りながら、高度な大学のコラボレーション環境で最先端の研究開発やデータ分析を垣間見ることができました。多くの学生たちにとって、それは変革をもたらす体験であり、MIT での生活の中でハイライトの一つでした。」

IE 大学 戦略的グローバル・パートナーシップ担当副社長ゴンザロ・ガーランド・ヒルブック氏は、「IE 大学とInfosysは 10 年近くアカデミック・パートナーであり、Infosysのイニシアチブで協働することに大きな誇りを持っています。現在の不確実な地球環境の中で、Infosysが学生や学界全体へのコミットメントを尊重し、大きな回復力を示してきたことは非常に画期的です。Infosysが提供するインターンシップは、実務体験を重視するだけでなく、学生が完全に没入的な学習体験によって豊かになって戻ってくるのを目撃しています。当大学は、Infosysとのこのパートナーシップにおいて引き続き協力し、また、教育の利益のために他の共創的な機会を模索することを楽しみにしています。」と述べています。

モナッシュ大学 IT 学部副学部長 (国際) 兼 AiLECS ラボ 副所長 キャンベル・ウィルソン博士は、次のように述べています。「InStep が世界一のインターンシップ・プログラムとして評価されたことをお祝い申し上げます。Infosysとのパートナーシップにより、当大学の学生は刺激的なデジタル・キャリアを模索できるようになりました。オーストラリアで次世代のデジタル人材を育成し続ける上で、この提携をさらに発展させることを楽しみにしています。」

完全な有給インターンシップである InStep は、インターンに金融サービス、戦略的エンジニアリング・グループ、人口知能、データ分析、サイバー・セキュリティなど、企業の機能や事業部門にまたがるリアルタイム・プロジェクトに従事する機会を提供しています。19ヶ国、75の大学から186人以上の学生が InStep の 2020-2021 プログラムに参加しました。

当社について

インフォシスは、次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングのグローバル・リーダーです。当社は 46 カ国の顧客のデジタル変革を実現しています。過去 40年間グローバル企業のシステムや業務を管理してきた経験に基づき、お客様のデジタル変革を専門的に誘導します。AI による変更実行の優先順位化、アジャイル・デジタルによるビジネス強化、優れたサービス提供により、お客様に高い評価をいただいています。当社は常に学習し、イノベーション・エコシステムのデジタル・スキル、専門知識、アイデアを活用して継続的な改善を実現しています。

詳しくは、www.infosys.com をご覧になり、インフォシス (NYSE: INFY) がどのように企業のデジタル改革を支援しているかご確認ください。

セーフハーバー条項

本リリースに記載されている当社の将来的な成長の予測、財務的な見通しおよび新型コロナウイルスの当社従業員、お客様およびステークホルダーに対する影響を回避するため計画に関する記述の一部は、1995年私募証券訴訟改革法の『セーフハーバー条項』に該当する情報が含まれており、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。これらの記述に関連するリスクや不確定要素には、新型コロナウイルスとその蔓延の抑制を図る政府などの措置の効果、インド、米国、その他の世界各国における不況または景気後退に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済状況の変化、収益の変動、為替レートの変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技術をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界や係争中の訴訟や政府の調査の結果に影響を与える経済情勢などが含まれます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2019年度会計年度（2020年3月31日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、追加で書面および口頭により将来の展望を随時発表する場合がありますが、法令で定められている場合を除き当社または代理人により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問合せ先

インフォシスリミテッド 日本支店

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com